

Silvia Baron Supervielle

シルヴィア・バロン・ シュペルヴィエル 詩と映画をめぐる対話

映画上映会・監督講演会

後援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ
インスティトゥ・セルバンテス東京

参加費無料・申込不要
日本語通訳付

世界文学をつなぐ詩人を描くドキュメンタリー映画、いよいよ日本上映

フランス語とスペイン語という二つの言語世界を生きる詩人、シルヴィア・バロン・シュペルヴィエル。彼女の言葉と生の軌跡を追ったドキュメンタリー映画の上映と、監督による講演会を開催します。セーヌ川とラ・プラタ河、二つの岸边をつなぐ言葉の旅を通して「異なる言語で生きる」ことの意味を探ります。

11/22 (土) 17:00-19:00

会場 関西日仏学館 (大阪) 会議室

アクセス



11/24 (月・祝) 13:20-14:50

会場 神戸女学院大学
ジュリア・ダッドレー記念館 104教室

文学部総合文化学科主催
公開講演会

文学部 総合文化学科



アクセス



シルヴィア・バロン・シュペルヴィエル
(Silvia Baron Supervielle, 1934-)

アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。1961年にフランスに渡り、以来パリに在住。フランス語で詩、小説、エッセイを発表。ユルスナールやボルヘスの翻訳者としても知られ、スペイン語とフランス語を往還する詩人として現代文学に独自の位置を占めている。

講師 マリオ・ダニエル・ヴィジャグラ
(Mario Daniel Villagra)

映画監督、作家、詩人、アーティスト。パリ第3大学に所属し、詩と映像をめぐる創作と研究を行う。本作の監督として、世界各地で上映と講演を行なっている。



11/24(月・祝) アクセス・お問い合わせ

神戸女学院大学 兵庫県西宮市岡田山4-1 <https://www.kobe-c.ac.jp>

お問合せ先：文学部事務室 E-mail: i-lecture@mail.kobe-c.ac.jp TEL: (0798) 51-8549

※キャンパス内は全面禁煙です。※自家用車での来場はご遠慮ください。※タクシーでお越しの場合は西門をご利用ください。

※学内セキュリティ強化のため、北門・谷門は閉門しております。徒歩でご来場の際は正門よりお入りください。